

海外短信

ところかわれば!

～ タイ ～

合掌し、お祈りをする生活風習

～ 曙ブレーキ工業(株) ～

～合掌に込められた相手への深い尊敬の念～

(AKEBONO BRAKE (THAILAND) Co., Ltd Sale & Planning 宇野裕之様からの寄稿)



バンコク都内 某デパート隣接の祠 (ほこら)
毎日大勢の人がお参りに来る

今やタイ国の経済は、ご存知のように日本の企業がその発展の大きな役割を果たしており、自動車販売数も実に8割以上が日本メーカー車で占められている。私は曙ブレーキ工業(株)タイ法人のAKEBONO BRAKE (THAILAND) CO., Ltd. に2012年1月に赴任したが、そんな日本と切っても切り離せないタイの生活風習について紹介する。

皆様は最近合掌をする機会は何のくらいあるでしょうか？ たとえば一日に何回ぐらい合掌することがあるでしょうか？

タイの人たちは実によく“ワイ”と呼ばれる合掌をすることで、お祈りや挨拶をする。タイでは実に人口の95%が仏教信仰と言われており、仏教国家として知られている。日本でも「社」が設置されているケースはあるが、タイの建物(家・マンション・デパート・会社・工場など)には必ず「祠」(ほこら)のようなものが

設置されている。タイ人は老若男女ほとんどの人たちがその祠に向かって合掌し、お祈りをする。

私の勤務先では、タイ人スタッフが出勤してくるとき、会社の入り口門に設置してある祠にほぼ全員が手を合わせてお祈りを捧げてから事務所内に入ってくる。また、お互い挨拶をする際にも、合掌し、“サワディーカップ”、“サワディーカー”と挨拶を交わす。さらには、街中に設置してある祠には平日・休日を問わず多くの人たちがお供え物をもってお参りに来ている。こうやって一日に何回も合掌をする。

仏教では、合掌とは相手への深い尊敬の念を込められているという。私もたまに合掌をして挨拶を交わしてみることがあるが、不思議に気持ちが穏やかになるような気がする。

皆様も少しだけ、合掌をする機会を意識してみても如何だろうか？

*タイでのワイ(合掌)は、相手に対する敬意・尊敬の念を示し、その作法には様々な意味が存在するようです。日本の合掌に込められる内容とは違い、相手や場面によっては逆に無作法にとられてしまう可能性もございますので、本短信はあくまでもタイにおける習慣の参考としてお取り扱い願います。



バンコク都内 マクドナルド店舗の風景
こんなキャラクターもワイ(合掌)。
見慣れないメニューもある。